

# 人権だより

No.275(2020.12)

## しょうねん きおく B少年の記憶

ほけんかんきょうぶ いわもと しんじ  
保健環境部 岩本 伸治

いちおうびじゅつ きょうし かん わだい  
一応美術の教師なので、アートに関する話題を。

テレビ全盛期の昭和後半、B少年だった僕が覚えているアートに関するドラマに「裸  
の大将」というのがあった。芦屋雁之助演じる「山下清」が全国各地を放浪し、滞在先  
でのドタバタ劇ののち、最後は緻密なちぎり絵をお世話になった人のお宅に置いて人知  
れず次の放浪に旅立ち、後からその絵を見た人々が、「あ、あの人が山下清だったの  
か!」というオチで毎回終わっていた。放映当時、既に亡くなっていた山下清だが、  
「日本のゴッホ」ともてはやされ、巡回展は何度か愛媛にも来るほどのブームであった。

次は平成に入ってからのお話。B教師になった僕の赴任校は宇和養護学校（現宇和  
特別支援学校）。そこで出会った生徒たちの、アートの表現力の豊かさに衝撃を受け  
た。マジックで、画用紙の隅々まで電光掲示板のような書体の数字を整然と書き並べる  
生徒。好きな新幹線の車両を、嬉しそうに口ずさみながらひたすら細部まで正確に描い  
ている生徒など。それまでのアートに対する僕の概念を、いい意味で砕いてくれた。

そんな彼らのアート作品のことを、「アウトサイダー・アート（正規の芸術の美術教育  
訓練を受けていない者の制作した作品）」とか、「アール・ブリュット（生の芸術）」、日本  
では「エイブル・アート（可能性の芸術）」とも呼ばれている。しかし、難しい単語で健  
常者と区別しているようで、これらの言葉が僕は嫌いだ。アートは内面の感情を絵や  
立体として表現する行為である。心は誰にもある自由の世界であり、それを表現するア  
ートは、誰もが平等に持てる表現手段である。僕が出会った作品は、別にわざわざ○○  
アートと区別しなくても作品そのものに感動させられたただけであり、そこには健常者や障  
がい者といったくくりは存在しない。

山下清を、当時の人々がどのように受け入れていたのか B少年だった僕にはよくわ  
からない。しかし、巡回展で観た、あの緻密でエネルギー溢れるちぎり絵は、B少年の心  
を揺さぶったのは確かだ。アートは人々の心の壁を簡単に取り払ってくれる凄い力があ  
ると信じている。だから僕は美術が好きだ。

## 【人権委員の声】

美術は、人々によって感じ方が違うけど、誰でも自由に好きなように表現するのが大事だと思います。これからも、自分の感性で美術を楽しみたいと思います。

2年3組 清家楓

健全者と障がい者を区別する言葉は私は必要ないと思います。岩本先生のように「区別されているようで嫌い」という考えの人がいるので、わざわざ区別する言葉を作る必要はないと思いました。

2年3組 田中深夏

人が何かをするときに、これがあるからしたいことができなったり、他の人と区別されたりすることはあってはならないことだと思います。「障がい者だから」「健全者だから」「男だから」「女だから」という固定観念を捨てるのが差別を無くすための第一歩だと思います。

3年3組 甲斐茜

「障がい者だから」ということがあるのはおかしいと思いました。その言葉が相手を思っていることかもしれないけど、そういった区別はしてはいけないと思いました。

3年3組 三浦野乃花

美術の世界でも創った人によって「エイブル・アート」や「アール・ブリュット」など区別されることを初めて知りました。確かに障がいのある人はできないことや難しいことがあると思うけど、それ以外のことは障がいのない人と同様にできると思います。ノーマライゼーションの理念が浸透して、人々がみんな、できないことは助け合って、同様な生活ができるようになればいいなと思いました。

5年3組 入山未央

## 【字を識る】 情けは人の為ならず

一人でできることなんてほんのこれっぽっちだよ。だから人は力を合わせて頑張るんだ。

人のためにすることは、巡り巡って自分のためになる。そして人は、自分ではない誰かのために信じられないような力を出せる生き物なんだよ。

自分ではない誰かの為に命を懸けた人たちの物語が完結しました。

ありがとう・・・。

## 【お知らせ】

人権メッセージを制作しました。

タイトルは、「今 私にできること 私にしかできないこと」です。

本校生徒が、長島愛生園への訪問や子ども食堂への参加をとおして、気付いたこと、感じたこと、伝えたいことをメッセージにまとめました。

令和2年 12月より、宇和島ケーブルテレビで、毎週火曜日と金曜日 18時からのUCATニュースの中で放映されます。ぜひご覧ください。

また、チラシ右側のアンケートにもご協力ください。回収箱を職員室外に設置しておきます。

宇和島南中等教育学校人権メッセージ  
~今私にできること 私にしかできないこと~

行動する Act  
今、中高生である私にできることを考えた。出会うこと、学ぶこと、伝えること。それは行動した私にしかできないことでもあるという思いを込めて。

関わる Concern  
“フィズコロガ”の時代、

出会う  
知る気づいたという「健康」

気づく Think  
同じ遠征を多くの選手はしていない

感じる Imagine  
“フィズコロガ”の時代だからこそ、つながりやすかたに。

楽しむ!  
宇和島でもできることがある

学ぶ  
ひとりぽっちをつくらないまちづくりを。

結ぶ Network  
#UWJAP #UWJAP #UWJAP

伝える Output  
宇和島 Uwajima  
子ども Kids  
行動 ACTION  
計画 Plan

『UWJAP (ユウキヤッパ)』健闘し続け!

宇和島ケーブルテレビ  
〒797-8501 宇和島市南町1-1-1 宇和島ケーブルテレビ 電話:0898-22-1111